

令和3年度 人生100年時代の女性学講座

アフターコロナを生き抜くセカンドチャンスをつかむために

内容

新型コロナウイルス感染症の拡大は、経済のみならず、私たちの生活様式や働き方、考え方にも多大な影響を与えており、新たな対応が必要となっています。このコロナ禍、アフターコロナの状況で、人生100年時代を見据え、女性は子育てや企業の定年を終えた後のライフステージをどのように描いたらいいのでしょうか。講座では、女性学を学びながら、自分のこれからの生き方について考えました。

女性を取り巻く状況として、人事政策に女性差別がみられること、女性は正規雇用としての再就職が難しいこと、子育て・介護をしながら働くことを難しくしていることについて考察しました。コロナ禍において、雇用環境は大きく変化しており、特に女性の就労環境は変わってきているおり、アフターコロナでは、これまでの価値観や常識とは違った生き方、働き方の時代への転換点となるという講師の指摘は、参加者にとり大きな気付きとなったようです。講座で取り上げられたさまざま事例を通し、これからは女性の強みを活かしたキャリアづくりやより柔軟な働き方が求められていることを認識しました。

日時

令和3年7月1日（木曜日）・8日（木曜日）

午前10時～正午 全2回

場所

浦安市中央図書館ワークスペース

講師

寺村 絵里子氏（明海大学経済学部教授）

プログラム

第1回 女性のキャリアの現状と変化

第2回 これまでの仕事、今後の人生

令和2年度 人生100年時代の女性学講座

育児後のセカンドチャンスをつかむために

内容

就職、結婚、離職、子育て、再就職、介護など、女性は一生のうちにさまざまな転機に直面します。人生100年時代といわれる中、子育てや企業の定年を終えた後のライフステージをどのように描き、どのように生きていったらいいのか、女性学を学びながら、自分のこれからの生き方について考えました。再就職に取り組む女性や再就職後の女性、起業した人など、映像により複数のロールモデルの事例が紹介され、これからのキャリアを考える上で参考になりました。講座の後半では、ワークショップを行い、参加者同士で問題や課題を共有しました。

日時

令和2年9月4日（金曜日）・11日（金曜日）・18日（金曜日）

午前10時～正午 全3回

場所

浦安文化会館3階 中会議室

講師

寺村 絵里子氏（明海大学経済学部教授）

プログラム

第1回 女性のキャリアの現状と変化

第2回 人生100年時代で長くなる育児後・定年後

第3回 これまでの仕事、今後の人生

平成31年度 人生100年時代の女性学講座 育児後のセカンドチャンスをつかむために

内容

就職、結婚、離職、子育て、再就職、介護など、女性は一生のうちにさまざまな転機に直面します。人生100年時代といわれる中、子育てや企業の定年を終えた後のライフステージをどのように描き生きていくのか、女性学を学びながら考えました。日本で特徴的な「育児のために仕事を辞める女性が多い」という現状や「子どもを持つと女性の幸福度は下がる」という調査結果をもたらす要因は何かを探り、これからの生き方について考えました。ワークショップでは、グループでの話し合いの中で、自分の状況を見つめ直し目標の実現のためにどうするのか模索しました。

日時

令和元年6月24日（月曜日）・7月1日（月曜日）・7月8日（月曜日） 午前10時から正午 全3回

場所

浦安市文化会館3階 第1会議室

講師

寺村 絵里子氏（明海大学経済学部教授）

プログラム

第1回 女性のキャリアの現状と変化

第2回 人生100年時代で長くなる育児後・定年後

第3回 これまでの仕事、今後の人生

平成30年度 子育てがラクになる女性学講座

内容

日本は、結婚や出産で仕事を辞め家事・育児に専念する女性が他の国よりも多く、また、育児期の女性の幸福度は下がっていることが指摘されています。なぜ日本の育児期の女性の幸福度が下がるのか、その背景には何があり、その原因は何なのか、女性学をヒントに考えました。日本社会に根強く残っている性別役割分担意識といった社会規範はどのように子育て期の女性の生き方に影響しているのか、身近にある問題から探っていきました。後半のワークショップでは、グループに分かれ、子育て期・後の自分のキャリアをどう築いていくのか、自分らしく生きることについて考え、実現のためのきっかけや方法について話し合いました。

日時

平成30年10月2日（火曜日）、10月9日（火曜日）、10月16日（火曜日）
午前1時から正午 全3回

場所

中央公民館 第2会議室

講師

寺村 絵里子氏（明海大学経済学部准教授）

プログラム

第1回 日本の育児・保育の現状と課題

第2回 子どもの成長と家族のあり方、近年の変化

第3回 これまでの仕事、育児後の人生